

# 4年間の私の実績を紹介します!

# 大野トモイ

横浜市会議員

元ICUチアリーダー  
現役ママ議員

44歳



ジャパンカップ  
第1位

～すべての人に居場所と出番を～

**実績 1 産後母子ケア事業**  
 ■令和2年度予算特別委員会・第3回定例会、令和4年度予算特別委員会・第4回定例会で提言および要望

・利用条件が緩和され、**令和5年度**  
**施設数** 平成30年度 32ヶ所から **49ヶ所**に増加!  
**予算額** 平成30年度 2,373万円から **2億2,426万円**に拡充!

**実績 2 乳幼児一時預かり事業**  
 ■令和2年度予算特別委員会  
 ■令和4年度予算特別委員会・第4回定例会で提言・要望

**施設数** 平成30年度 22ヶ所から **34ヶ所**に増加!  
**予算額** 平成30年度 2億8,526万円から **8億5,259万円**に拡充!

**実績 3 病児・病後児保育事業**  
 ■令和4年度第4回定例会で質疑

**施設数** 平成30年度 25ヶ所から **29ヶ所**に増加!  
**予算額** 平成30年度 4億751万円から **5億8,282万円**に拡充!

母になったら公認なしですか?

## 『中谷一馬・衆議院議員によるハラスメント』

### への調査申立書 (2022/5/23) について

外部相談機関による中間報告 (2022/9/20) 及び最終報 (2022/12/22)、党ハラスメント対策委員会によるヒアリング (2023/1/12) を経て、党は 2023 年 1 月 17 日、私に事前に通知することなく、党常任幹事会後の幹事長会見に於いて『ハラスメント事案の審議結果と勧告 (吉田忠智党ハラスメント対策委員会委員長)』を発表しました。

『審議結果と勧告』が、私が申し立てた事実を虚偽としていないにもかかわらず、『中谷氏ではなく事務方が行ったことであって、中谷氏が積極的に主導したものとは言えない』などとして、中谷氏のハラスメントを認定しなかったことは、甚だ不思議であります。

『立憲主義』を掲げる野党第一党に於いて、ハラスメントの存否という法的問題が、法的手法 (事実と論理の積み上げ) ではなく政治的手法 (党内での力関係を背景とした多数決) によって決着させられたことに、市民として、立憲民主党に所属する議員のひとりとして、失望を禁じえません。党内にこれ以上の審査手続きが用意されていない以上、本件は今後、司法に委ねることにしますが、まずは当面、本年 4 月の横浜市会議員選挙に向けての準備に注力します。

『審議結果と勧告』は、中谷氏について、私が『ハラスメントと受け止めた点があるという事実に真摯に向き合い、(中略) 丁寧な支部運営に努めるよう指導すべき』と勧告し、中谷氏は公認に関する決定に関して『そのプロセスや理由について十分に説明責任を果たすことが求められる』と勧告しています。

『審議結果と勧告』を受けて 2023 年 1 月 17 日の常任幹事会に岡田幹事長名で提起された「ハラスメント事案への対応について」は、中谷氏に対し、党規約上の措置として『幹事長による注意』を講じること、丁寧かつ公正公平な総支部運営に努めることを求め、承認されました。

中谷氏には、私がハラスメントと受け止めたという事実に真摯に向き合い、公認に関する決定について十分に説明責任を果たし、丁寧かつ公正公平な総支部運営に努めることを、期待してまいりましたが、本レポート入稿時点で、中谷氏からの説明は全くありません。

この間、私と想いを共有し、共に在ってくださった全ての皆様へ、心から感謝申し上げます。

2023 年 3 月 立憲民主党 横浜市会議員 大野トモイ

## ～すべての人に居場所と出番を～

〒222-0037 港北区大倉山 3-1-3-3E 横浜市会議員 **大野トモイ 事務所**  
TEL:045-298-8475 FAX:045-330-8178  
e-mail:anatanokoe@tomoi.yokohama

大野トモイ  
サポーター登録



## 大野トモイ プロフィール

- 高知県四万十市生まれ
- ICU (国際基督教大学) 卒業
- 大学時代から民主党青年局で活動
- 東証一部上場企業正社員
- 民主党衆議院議員公設第一秘書・都内外資系企業人事部管理職を経て、平成 31 年より立憲民主党の横浜市会議員。生活クラブと福祉クラブの組合員。
- 民主党衆議院総支部長 (2005 年衆院選～2009 年衆院選)

**特技** 英語 (TOEIC895) **性格** はっきりモノを言う **家族** 夫 (拓夫) と 1 歳の娘